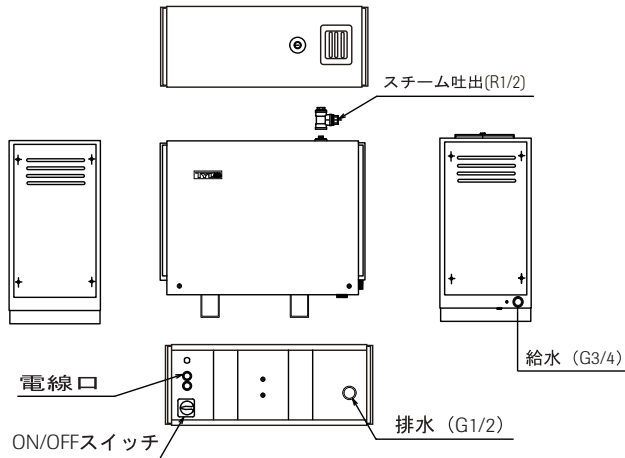


各部のなまえ VA

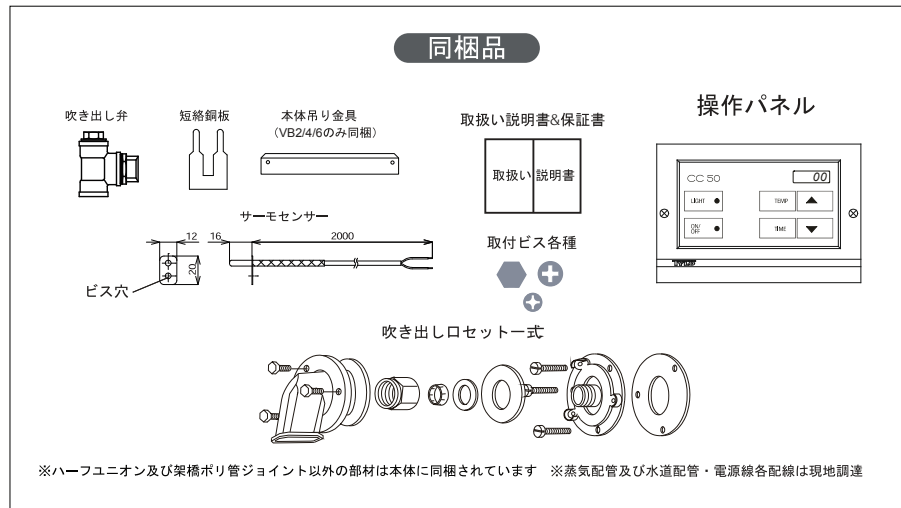
6VA (6kw) 9VA (9kw) ・ 12VA (12kw) 3機種とも同サイズです。
VAシリーズは6kw・9kw・12kwの3機種になります



形式	6VA・9VA・12VA
出力	6kw・9kw・12kw
電源	単相 三相兼用 200V
適用容積	機種によって変わる
操作パネル	EC50

電気仕様図

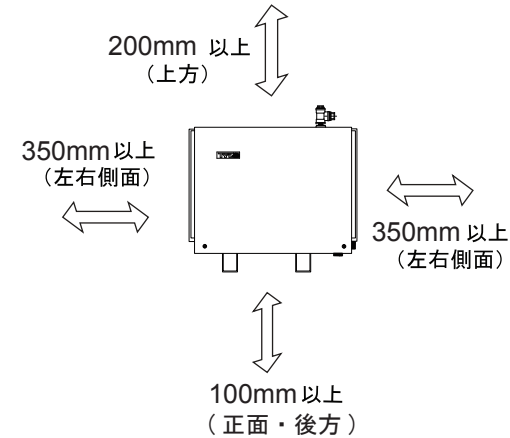
kw		6VA	9VA	12VA
単相200V	amp	30	45	60
	mm ²	10	16	20
三相200V	amp	18	26	26
	mm ²	4	10	10



本体取付

VA・6kw/9kw/12kw 取り付け位置

VAシリーズは水平な床または水平な土台の上に設置してください。
設置には以下、下記図のとおりメンテナンススペースが必要です。
発生器は室内（屋内）に設置してください
(浴室内と屋外には設置できません)



安全上必ず次のように設置してください。

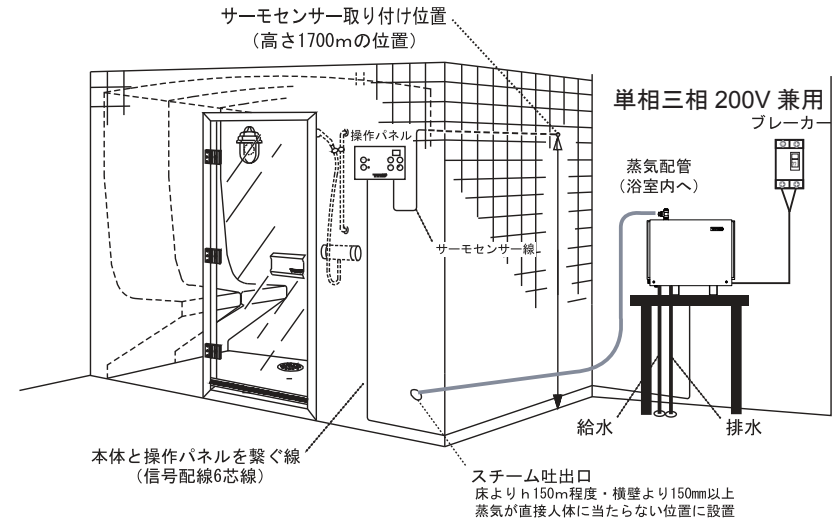
壁より

- 上方 200mm
- 側面 350mm
- 正面・後方 100mm

に離れた所に設置して下さい。

VAシリーズは床置き型になります。

設置イメージ



VA シリーズは 6VA (6kw) 9VA (9kw) 12VA (12kw) の 3 機種ございます。

下記の表に基づき部屋の大きさに合わせて適切な機種を設置してください (単位は立米になります)

出力不足の場合室温を上げることができません。

出力	各出力のスチームルームの体積 (最大)	蒸気発生量
6kw	2.5 ~ 9 立米まで (例 . W2000×D2000×H2100)	9kg/1hrs
9kw	7 ~ 16 立米まで (例 . W2700×D2700×H2100)	12kg/1hrs
12kw	14 ~ 20 立米まで (例 . W3000×D3000×H2100mm)	16kg/1hrs

電気仕様図

		6VA	9VA	12VA
kw		6	9	12
単相200V	amp	30	45	60
	mm2	10	16	20
三相200V	amp	18	26	26
	mm2	4	10	10

※注意事項

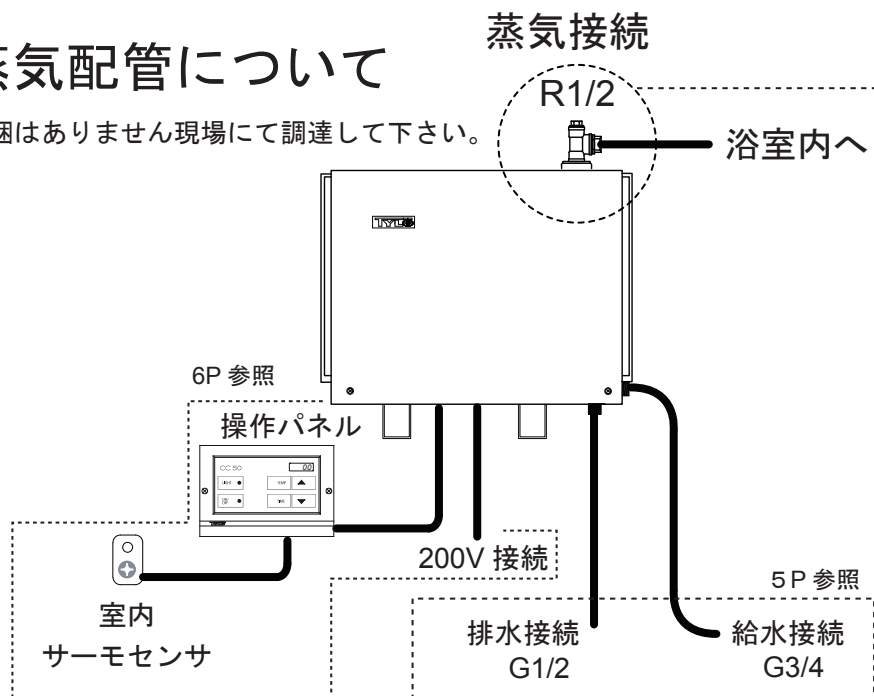
- ・ 外壁 (外気) に面する部分に窓ガラスがあると冬場のヒートロスが強烈になり温度が上がきらず冬場はサウナとしての使用は**不可**となります。
- ・ 部屋の気密断熱性能が高いほど温度上昇並びに保温性能に大きく差が出ます。天井、壁、ベンチ下床に断熱材 (グラスウール) を入れてください。部屋の仕切り壁をガラスにする場合は能力が落ちるので一段階上の出力の物を設置して下さい。通常室温が 10 度を下回るような場所 (浴室並びにスチームルーム) では温度が上がきらずサウナとして使用するのは**不可**となります。
- ・ 天井高は最高で **2.4m** までとなります、天井高が低いほど蒸気発生器の能力が高まります。(天井高が 2.4m 以上だと熱気が天井部に滞留しサウナとしての使用が難しくなります)
- ・ 換気扇は必要に応じて設置して下さい、使用中に換気扇を ON にすると蒸気が換気扇に引っ張られて温度が上がらなくなるので入浴後のみ使用して下さい。

設置略図

VAIは水平な床の上もしくは水平な台に設置してください。

① 蒸気配管について

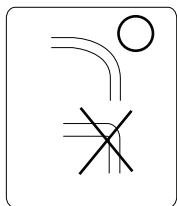
※配管の同梱はありません現場にて調達して下さい。



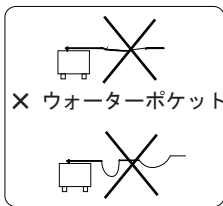
蒸気配管は耐熱性の物を使用し断熱材を施してください。
蒸気配管はなるべく短く配管して下さい、蒸気配管を曲げる場合は鋭角度を避けてたるみやウォーターポケットが一切出来ない様に配管して下さい。蒸気配管の長さは最大**3m**までです。推奨品は銅管 15mm です。その他の材料を使用する場合配管の内径が必ず**12mm**以上の物を使用し蒸気発生器

本体の交換が可能な状態で配管して下さい。

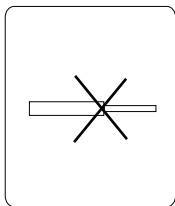
(配管径が広いほど運転時に静音になります)



鋭角度な曲げ

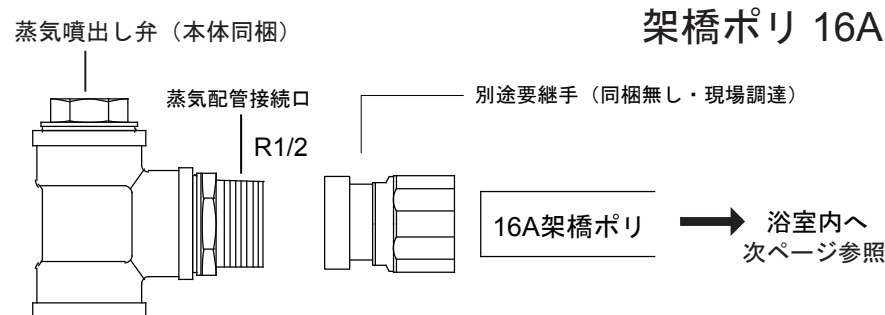
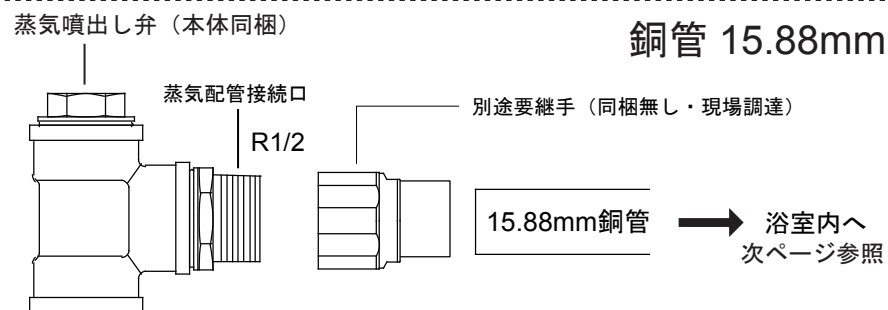
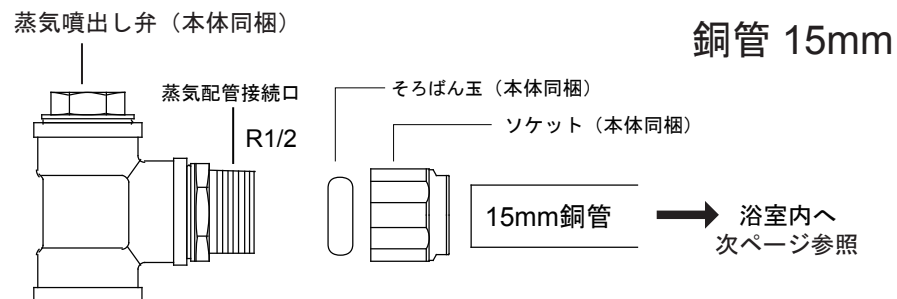


多数の曲げたわみ



配管径の縮小

施工例



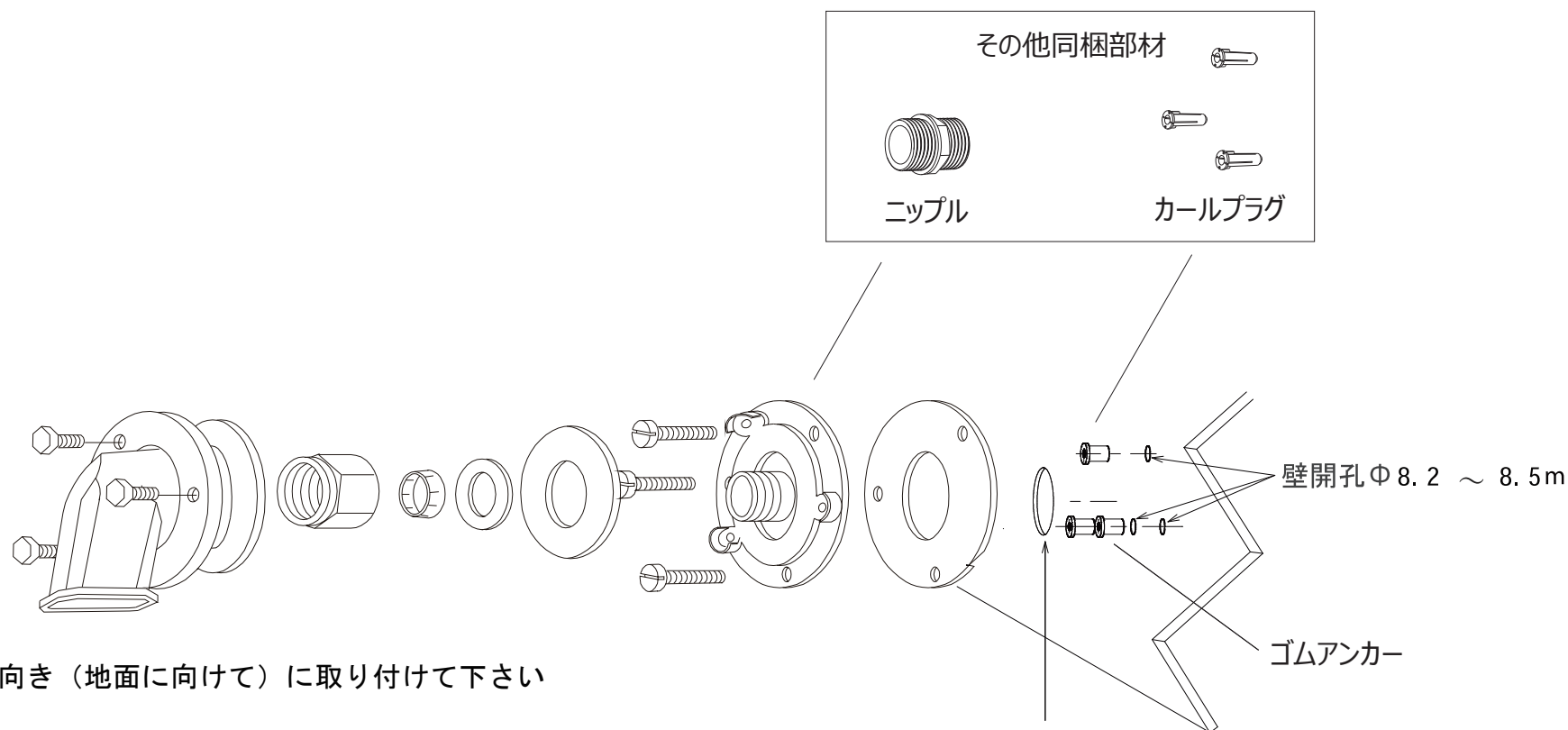
※蒸気配管に鋭角度の曲げやたわみがあると機械が正常に動きません

※配管された蒸気配管にウォーターポケットがあると配管内で狭窄し安全装置が働いて機械の運転が停止します、蒸気配管はトラップ等が出来ない様に**3m**以内で配管して下さい。

※配管の内径が**12mm**以下の配管を使用した場合も安全装置が働き機械が停止します。

蒸気吐出口の取付

※吐出される蒸気は98度程度の高温になります、吐出口の設置位置は床面より高さ150mm程度 横壁より150mm以上の場所に設置してください、噴出した蒸気が人に直接当たらないように設計・施工してください。

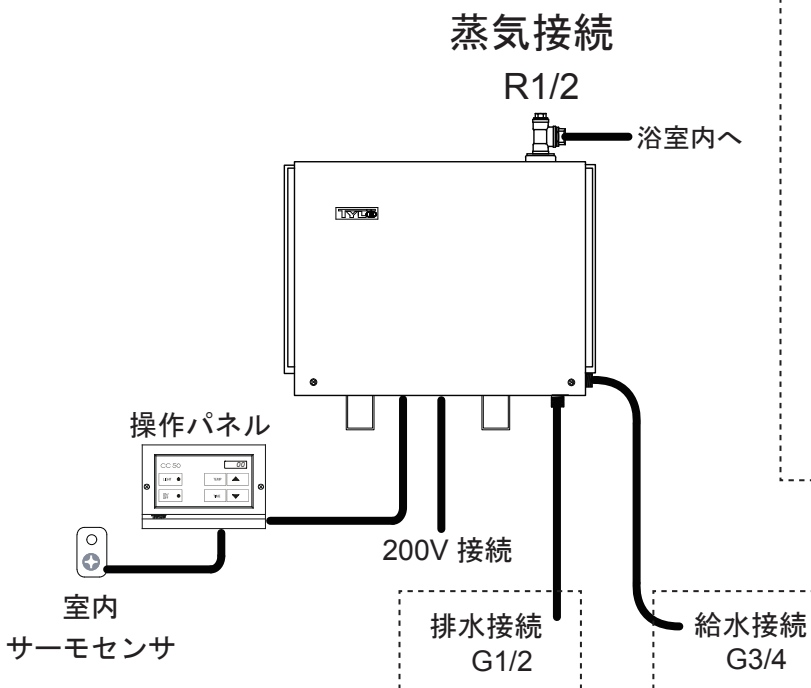


噴出し口は下向き（地面に向けて）に取り付けて下さい

使用する配管の径に合わせて開孔して下さい。

※配管・継手以外の部材は本体に同梱されています

②給水・排水接続について



給水（止水バルブは必ず取り付けて下さい）

（給水に地下水と工業用水は絶対に使用しないでください）

市水（地下水ではない飲み水）を給水に接続して下さい。給水接続にボイラー経由の湯を接続すると機械本体の耐用年数が高まるのと蒸気の立ち上がり時間が短縮されます。給水並びに給湯の接続は直圧で接続して下さい、水圧が弱いと機械の安全装置が働いて機械が停止する場合があります。

商業施設で設置使用する場合は**必ず軟水器**を使用して下さい。高硬度水の（100mg/L）以上の水を給水に使用する場合も軟水器の設置が必ず必要です。水質に関しては最寄りの水道局で確認が可能です、市水の場合でも水源が地下水の地域もあります。

排水

配管に使用する部材は耐熱性のある物を使用して下さい、タンク内に残った熱湯が排出されます。スチームルームの排水溝に接続する場合は排水が人に当たらない様に設計・配管してください（床がプラスチックフロアの場合蒸気が当たる面や排水が流れる面は徐々に変色していきますのでご注意ください）排水は凝固したカルシウム成分が排出されるため、排水パイプの配管径の縮小はNGです、凝固成分がつまり故障の原因になります。凝固成分が排出されるので排水管は真下に向かって真っ直ぐに配管してください。

TYLÖ® 給水の水質と軟水器の使用について

日本の水道水（地下水・井戸水・工業用水は除く）は全国的に見て平均硬度 50mg/L 程度となっていて、世界的に軟水とされています。しかし浄水場や水源の場所によっては 100mg/L を超える地域も各地に存在します、機器の耐用年数を高めるためにも給水に使用する水の硬度を確認してください、最寄りの水道局で確認が可能なのと弊社で水質チェックシートの用意もごさいます。

■ = GREEN ■ = RED

チェックパッチ



硬度

軟水

質量/体積

0 - 60mg/L 未満



中軟水

60 - 100mg/L 未満



硬水

100 - 180mg/L 未満



高硬水

180 - 249mg/L 未満

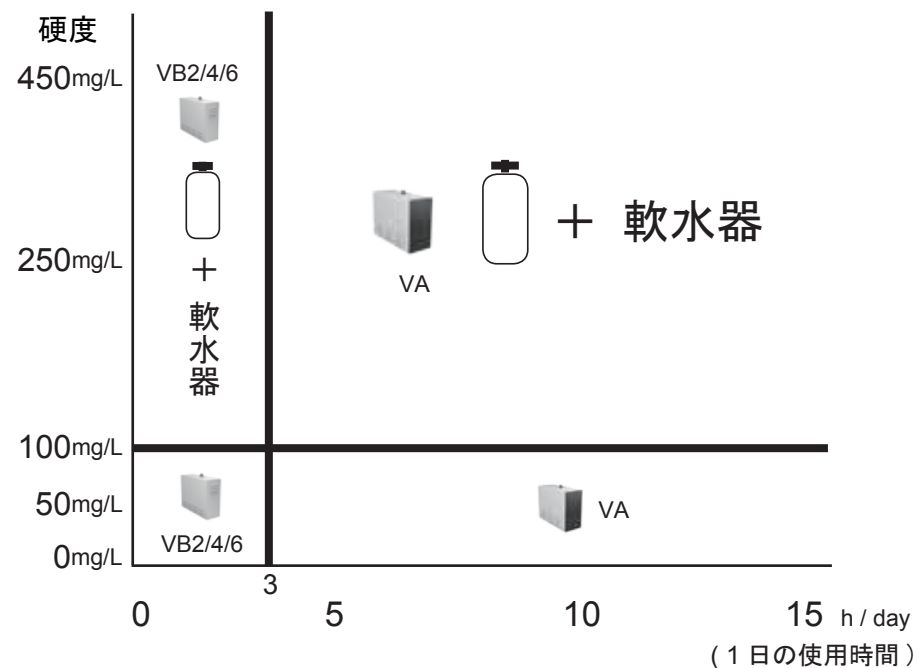
※要軟水器



超硬水

249 - 445mg/L 未満

水質チェックを行い数値が C 以上の場合は給水には軟水器の設置が必要です。



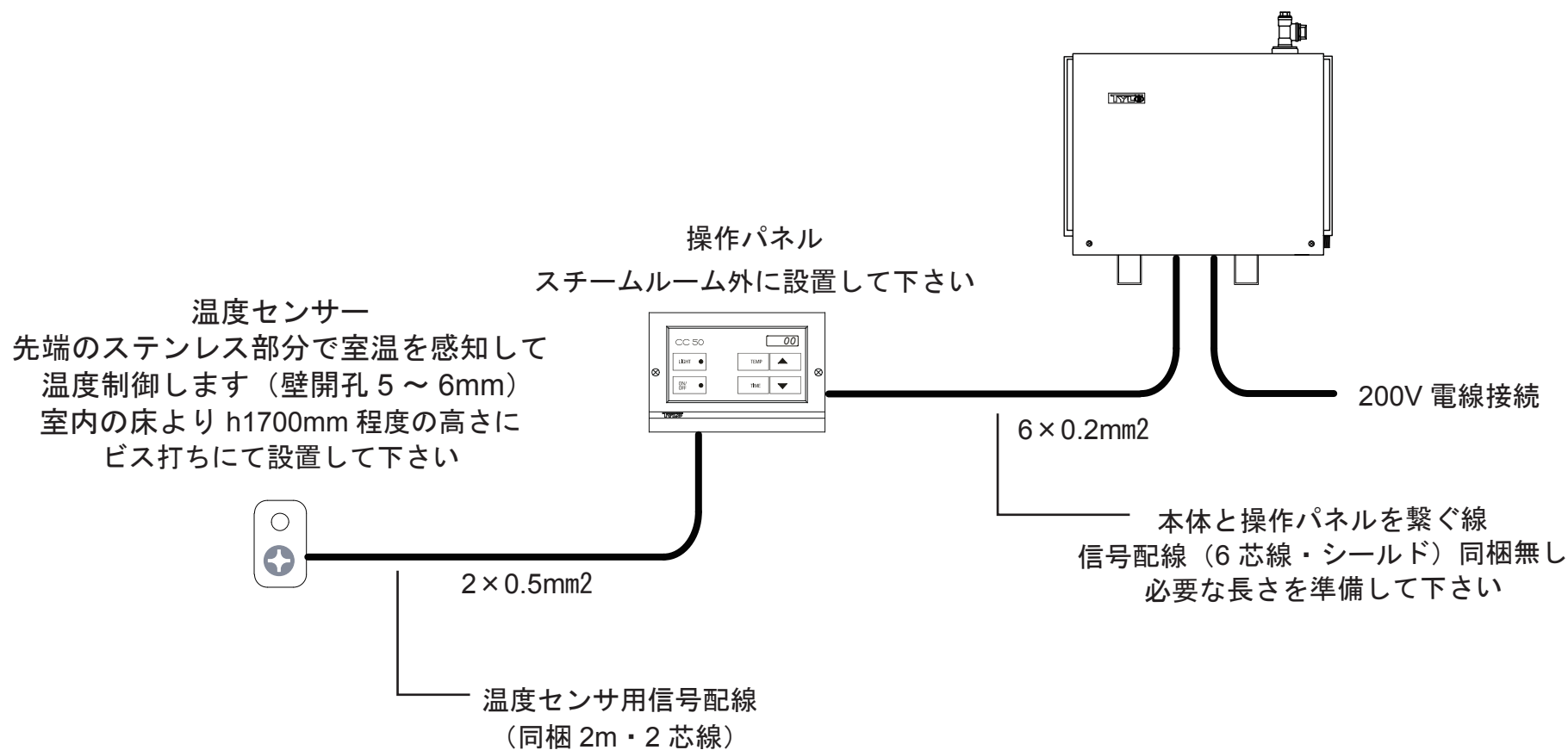
③電気接続について

※本体と操作パネルを繋ぐ線は同梱品がありません現場で必要な長さを準備して下さい

※本体と操作パネルを繋ぐ線、並びに温度センサーの追加配線はシールド線を使用して下さい。

(温度センサーは同梱品 (2mm) があります)

※信号配線並びに温度センサーを壁の中に埋設して配線する際は必ず CD 管等を使用して取り換え交換できるように接続施工して下さい。



配線を追加する場合は 2 芯線 · シールド線を使用して下さい。